



# 日本丸の復興

飴屋先生は、「人間たちが自由に生き始めた今世紀、一人一人が自分たちのことだけでなく人類の未来まで支配し始めた」ことによる影響が及ぼす結果を見て気が付かなければならないことがあるはずだと警鐘を鳴らし続けてきました。

しかし世間はこの言葉に耳を傾けようとしてくれませんでした。どうすれば良いか考え続けてきた飴屋先生は、2011年3月11日、突然の巨大津波に見舞われた時に、『日本丸の復興』のストーリーを考えつき、音楽をつけ、オペラとして2012年に初演を果たしました。2013年には、絵本として出版。以後、宮城と東京を中心に公演を重ね、昨年にはアルゼンチンの大学から招待されて海外初公演を行いました。

本公演ではオペラ『日本丸の復興』のほか、民族や宗教を越えて人類が誕生した原点、今生きている私たちまで続いてきた“絆”をテーマに、各分野の一線で活躍する方々と飴屋先生との座談会を通して世界の復興を皆さまと一緒に考えたいと思います。

21世紀維新の集いより

2016年3月11日(金)

18:00 開場・18:30 開演

仙台市市民活動サポートセンター  
／市民活動シアター (B1階)

入場料：2,000円  
ペア3,000円  
学生無料

ラスバンティ大学名誉教授  
飴屋善敏氏による講演  
座談会  
アルゼンチン凱旋公演  
オペラ『日本丸の復興』

## 第2回 日本丸の復興プロジェクト仙台公演

主催 21世紀維新の集い  
実行委員会

共催 NPO法人創る村  
協力 一元会寺子屋塾、NPO 法人生活習慣改善センター  
(公財)世界宗教者平和会議日本委員会  
後援 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社



地下鉄東西線広瀬通駅西5出口すぐ  
市営バス「商工会議所前」徒歩3分

**善**  
**敏**  
84歳  
あめや よしとし

**N**PO法人創る村の代表として、フリースクールにデイサービス・宅老施設を付設した複合施設「老菜子の家」の運営をはじめ、劇団の主宰と指導、ミュージカルの制作、作曲、絵画や書の制作、他にも依頼に応じてあちこちで講演を行った、コンサートを開催したりと、パワフルかつマルチな活動を続けています。昨年10月のアルゼンチン公演に合わせて、ラスパンティ大学名誉教授に任命されました。

**会**長の飴屋先生は、日本の国民は民主憲法をつくり、自由に生きはじめて60余年が過ぎ、『一人一人が自分の将来はおろか、世の中の行く末まで左右し始めた』ことに気がつき、子孫の世代まで平和を残してゆこうと呼びかける活動を続けています。出会った人を不思議なパワーで元気にしてしまう先生です。

飴屋先生は「リズム&スピリット・アメイズムセオリー」をつくりました。それは、最高の快感は優れた精神と優れた身体の働きによってつくりだす、という理論に基づくものです。宮城教育大学を定年退官してからも、ますます精力的に活動の幅を広げてきました。

2011年3月11日の東日本大震災では創る村も被災しましたが、そこから様々な問題を抱えた世の中の復興を実現したいと『日本丸の復興』を制作。その後、公演を重ねる中で、「みんなで日本丸を漕ごう」というメッセージに共鳴して集まってきた面々と共に、2014年12月、「21世紀維新の集い」を立ち上げてプロジェクトがスタートしました。現在、20名以上の会員によって勉強会を開いたり、公演・講演活動を行ったりしています。

日本丸の復興プロジェクト

オペラ  
絵本

日本丸の復興

**少**年は津波に流されて、ある島にたどり着きました。島では、流れ着いた村人たちが「復興！復興！」「絆！絆！」と言いながら歌ったり踊ったりしていました。

ところが、流れ着いた島だと思った場所は大きな船だったのです。しかも、船はガレキや廃棄物などによって危険な世界へと流されているのです。

そこへ翁が現れて、少年に向かって「早く皆で船の舵を取るのだ」とお告げを授けます。少年は翁の話に胸を熱くし、人々に呼びかけ、やがて船は明るく楽しい未来へと進み始めます…

前売券の店頭・ネット販売等  
は行いませんが、電話かメールにてご予約を受付けています。右記までご連絡下さい。

お問い合わせ

(NPO法人創る村)

〒981-0413 宮城県東松島市新東名4-6-1

【電話】0225-88-3793 【FAX】0225-88-4118

【メール】21cishin.tsudoi@gmail.com

駐車場がございませんので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

